

第5章 まちづくりの基本理念

本市では、今日の宇部市を築き上げる理念であった「共存同栄・協同一致」の精神^{こころ}と市民宣言に基づく「人間が尊重される都市づくり」を宇部市民の永遠の請願として、これまでの総合計画基本構想において、まちづくりの理念に掲げてきました。

近年の本市を取り巻く環境は、本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化の進展、経済情勢の悪化など、本市のまちづくりにおいて、脅威となる外部要因がより顕在化してきています。

このような社会情勢にあっても、市民が一体となって本市の将来を築いていくことが重要であり、このまちづくりの理念の意義は大きく、本構想においても、これを堅持します。

まちづくりの理念

今日の宇部市を築き上げる理念であった「共存同栄・協同一致」の精神^{こころ}と「人間が尊重される都市づくり」の市民宣言を宇部のこころとして尊重する。

平和を愛する市民の自治意識の高揚と公共の福祉を尊重する。

市民生活優先を基調として、人間居住の総合的環境整備に努力する。

広域生活圏の中核都市として、周辺地域との相互努力・相互補完の上に立って先導的な役割を果たす。

「共存同栄・協同一致」

大正10年(1921年)11月1日、宇部市が村から一躍市制を施行した日に読み上げられた誓文五則の中の言葉で、「皆が心をつにし、共に栄えていこう。」という意味です。